

●自然教室「宮ヶ瀬の自然図鑑を作ろう！」

森の中で発見した不思議な物・面白い物をまとめて、世界で一冊の図鑑を作ります。

実施日：8月9日（土）
時間：10:00～16:00頃
対象：小学生とその保護者
募集人数：30名（応募多数の場合は抽選）
参加費：1人300円（資料代・保険代）
締切：7月22日（火）
集合・解散：宮ヶ瀬ビジターセンター



●自然教室「鳥の模型を作ろう」

鳥の剥製を見ながら、紙粘土でそっくりに作ります

実施日：8月16日（土）
時間：10:00～16:00頃
対象：小学生とその保護者
募集人数：30名（応募多数の場合は抽選）
参加費：1人300円（資料代・保険代）
+材料代500円
締切：7月28日（月）
集合・解散：宮ヶ瀬ビジターセンター

2008
7月号
No.58

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

富士箱根伊豆国立公園 丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立海馬相模湖自然公園

箱根ビジターセンター
足柄下郡箱根町元箱根旧札場164
TEL 0460-84-9981

ヤマユリ



丹沢湖ビジターセンター

【〒258-0202 山北町玄倉515
TEL 0465-78-3888 FAX 0465-78-3777】

●自然教室「地学散歩」
～My岩石図鑑をつくろう！～

地学に興味のある初心者を対象に、丹沢の岩石や化石について野外で観察しながら学びます。

実施日：7月26日（土）9:10～16:00
場所：山北駅前集合・解散
対象：小学4年生以上30名（応募多数の場合は抽選）
参加費：1人300円 締切：7月12日（土）
*講師：門田真人氏（神奈川県立生命の星・地球博物館 外来研究員）
*共催：山北町

** 自然教室申込み方法 **

往復はがきFAX（返信FAX番号明記）に、行事名、参加者全員の氏名、年齢、性別、住所、電話番号を明記して、各施設へ締切日必着でお送りください。（詳しくは返信でお知らせします）

県立ビジターセンター もよおし案内

秦野ビジターセンター

【〒259-1304 秦野市堀山下1513
TEL0463-87-9300 FAX0463-87-9311】

●秦野戸川公園まつり
「地形模型を作ろう！」

厚紙を切って貼って、丹沢の地形模型を作ろう！

実施日：7月26日（土）*荒天順延7月27日実施
実施時間：午前・午後の2回開催
10:00～12:00、13:00～15:00
集合・解散：秦野戸川公園パークセンター2階 多目的ルーム
対象：小学生以上・どなたでも
募集人数：午前・午後 各回とも30名
参加費：500円（材料費）

申込方法

当日、午前・午後の開始時間の30分前から受付開始。直接申し込みカウンターへ。先着順。

夏だ！ 野山、川にでかけてみよう！

日差しのまぶしい夏もうすぐ。アスファルトに囲まれた町の中を抜け出して、森や川にでかけてみませんか？ 森を吹き抜けるそよかぜや、夏ならではの生きものたちの出会いに心癒されることでしょう。ビジターセンターでは、川や山の楽しみ方、危険な生きものなど様々な情報を提供しています。フィールドにでかける前に、ぜひ、お立ち寄り下さい。

編集・発行 財団法人 神奈川県公園協会自然公園課

〒231-0027横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階

TEL：045-651-0931（都市公園課・自然公園課）FAX：045-651-0932

自然公園課：sizenkouen@kanagawa-park.or.jp

ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

この通信を上記のホームページで見ることが出来ます。

箱根で夏の思い出を・・・

今回から、この神奈川県自然公園だよりに、季節のたよりを掲載させて頂くことになりました。はじめまして・・・といっても、当ビジターセンターへはもう何度も足を運んだ方もいらっしゃるでしょうね。

箱根も梅雨真っ只中。強い日差しが照りつけたかと思えば、急に曇ったり、土砂降りの雨が降ったり、しまいには濃霧に包まれたりと実に変わりやすい天気がつづいています。

神奈川県の花ヤマユリやウバユリ、シシウドなどが大輪の花を咲かせれば、いよいよ夏の到来。

当ビジターセンターでは7月27日（日）から8月24日（日）まで、今年も夏休みの活動を行います。

早朝自然観察会や、箱根を代表する名所・大涌谷までを往復する自然観察会、木の実や種を使ってのブローチ作り・・・

館内には新しい展示、火山成り立ちの新説も紹介されており、子供たちの夏の自由研究には最適です。

この夏休みの思い出を、箱根の自然の中で作ってみてはいかがでしょうか。

西丹沢自然教室

山北町中川1867-2-9
TEL 0485-78-3940

「夏の魅力・沢登り！」

丹沢の楽しみ方はいろいろあります。5月はつつじの花を見に来る人が多いですが、登山のほかにも、写真撮り、自然観察などがあります。

暖かくなると増えるのが沢登りです。登山道歩くのと比べるとたいへん危険なので、十分な安全装備をして経験者と行かなくてはなりません。

その一方、ダイナミックな光景や身体をいっぱい使うなどの魅力に溢れているのが沢登りなのです。

サワガニや魚にも会えますし、水辺の植物も豊富です。丹沢は古くから沢登りのゲレンデとして利用されてきた歴史があり、100本以上の沢のルートがあります。

快適に歩けるものから、滝を攀じ登る難易度の高いものまで様々です。初めての人は登山スクールに参加することが、沢登りを始める近道です。

この先、夏になると水遊びや滝の眺めを楽しむ人たちが増えてきます。その次には、ヤマトリカブト等の秋の花や紅葉も楽しめます。同じ山でも、季節を代えたり、別のルートで登るだけで、見えてくるものが違いますよ。

(倉持)



丹沢湖ビジターセンター

山北町安倉515
TEL 0485-78-3888

「池に育つ生きものたち」

ビジターセンターうらの生態園には、散策路や池があります。池には鳥や動物たちが、水浴びや水を飲むためにやって来ます。

ヤマアカガエルの子供のオタマジャクシ、トンボの幼虫のヤゴなどは、ここで、産まれてから大人になるまでの子供時代を過ごします。

たくさんの生きものがあるのを知っているのか、最近ではヤマカガシの子供がエサを求めて池に来て、泳いでいることもあります。



ヤマアカガエル(子ガエル)



ヤゴ

池に育まれた生きもの達は、どんどん大きくなり、ヤマアカガエルは陸の生活、トンボは空の生活を始めようとしています。

池のまわりでは、1センチほどのヤマアカガエルや、ヤゴの脱け殻を見つけることができます。

次はどんな生きものがやってくるのでしょうか？

生態園には、6月から「うら庭探検クイズ」が新しく登場しました。木や生きものの様子を観察しながら10問のクイズに挑戦してみませんか？見どころをビジターセンターで聞いて、さあ探検へ！

(楯谷)



ヤマカガシ(幼蛇)

宮ヶ瀬ビジターセンター

清川村宮ヶ瀬940-15
TEL 046-288-1373

「今年も会えだ！」

今年もフジキの花が咲きました！

2007年8月号に、フジキは4~5年周期で花を咲かせるマメ科の木...というふうにお伝えしたのですが、厳密にはそうとも言えないようです。開花のための条件が良ければ、年を隔てずに花をつけることができるのです。開花を確認したのは6月24日。昨年は二週間ほど散ってしまいましたが、今年はいつまで楽しむことができるでしょうか。

開花とともに花の終わりにも注意を向け、一年一年記録を残していきたいと思います。

宮ヶ瀬周辺では、他にも色々な花が咲いています。種類によっては、花期が終わり、地面に散ってから初めて存在に気づくような小さな花も。自然に対して、アンテナを張り巡らせているはずの私たちビジターセンタースタッフも、日々発見の連続です。何か面白い発見があったら、皆さんにもお伝えします！

梅雨が明けると、本格的な夏の到来です。躍動感をみせる生き物とともに、子供たちが活発に遊ぶ姿も見られるようになります。

宮ヶ瀬ビジターセンターでは、夏休み中に小学生のための3つの自然教室を予定しています。行事に参加して、自然を楽しむためのヒントを見つけてみてください。

(長澤)



フジキの花

秦野ビジターセンター

秦野市堀山下1513
TEL 0463-87-9300

「安全登山で夏山へ」

「〇〇山へ登りたいのだけど、私でも登れるのでしょうか...？」というような問い合わせをいただくことがよくあります。

楽しさや達成感など、登山には得るものが多い反面、「体力がもつか」、「怪我をしたら...」、「道に迷ったら...」など、これから始めたいと思っている人にとっては様々な不安があると思います。

そんな登山の初心者の方を対象にした自然教室「大丈夫？あなたの登山~正しい知識が一合目~」を6月21日(土)に開催し、登山の基礎的な知識や技術を学びました。

講師は日本山岳ガイド協会認定登山ガイドの下越田功さん。



コンパスの使い方



斜面の歩き方

参加者は50代~60代を中心にした27名で、「安全登山について」「地図やコンパスの使い方」などの室内講義の後、大倉尾根を登山しながら、実技を行いました。登山口や分岐点で地図とコンパスで「現在地の確認」を行い、登山道の随所で、「ストックの使い方」「ザックの背負い方」「休憩の取り方」「食料や水分補給の仕方」「斜面の歩き方」「登山道への負担の少ない歩き方」「危険生物の対処方法」などを学びました。

下山後、ビジターセンターの駐車場の階段で、スリングやカラビナ、ロープなどの器具を使って「危険箇所の通過の仕方」も体験。みなさん集中して取り組んでいました。

登山中は自己責任、自己判断が基本です。登山にこれからチャレンジしたい！という方も、安全登山に意識を持ち、基本的な知識や技術をしっかり身につけ、より充実した山歩きを楽しんでください。

(鈴木)